

地球科学輻合ゼミナール

(2012年度 前期 第7回)のご案内

データ同化による数値モデルと観測データの統融合

石川 洋一

JAMSTEC (今年3月まで京大・理・地球物理学分野)

データ同化は観測データを数値モデルに取り込むことにより、現実的かつ物理に整合性のとれた統融合データセット作成するための手法である。データ同化によって作成されたデータセットは、数値予報のための初期条件として、また物理過程の解析のための再解析データセットとしてに広く用いられている。さらに、データ同化システムは、数値モデルのパラメータを推定する、観測データの有効性についての感度実験を行うなどの様々な用途に用いられている。

本講演では、以上に示したようなデータ同化システムの応用について、実際に海洋循環変動・気候変動研究に利用されている例をもとに紹介する。

6月6日(水) 午後4:30～午後6:00

場所: 理学研究科6号館 303号室